

地域に密着した保健サー
びととして好評の「地区保
健センター」が四月二日、

健康 安全

坂井輪地区保健センター開設

発生源テレメータ一新設＝公害



坂井輪地区保健センターでの1歳半児検診

がオープンする予定です。
診療室を新設、大山台二
千九百四十から二千三百
千四百円から千五百円に
引きあげられました。しか
し、本人に負担をかける
ために個人負担を前年度と
同額の二百円に控え置きま
した。昨年十一月一日に
オープンしました。

がん検診の受診者 三千人も増加

さらに市では、保健所の
増設が困難な現在、直接市
民を対象にする保健サービ
スの場として、今後、地区
保健センターを増設してい
きます。新年度は、八月に
「鳥居野地区保健センター」
がオープンする予定です。

胃がん検診や子宮頸がん
検診の検料が、それぞれ
千九百四十から二千三百
千四百円から千五百円に
引きあげられました。しか
し、本人に負担をかける
ために個人負担を前年度と
同額の二百円に控え置きま
した。昨年十一月一日に
オープンしました。

公害監視 体制を強化

住宅防音工事 百四十九戸

公害から市民の健康を守
るため、大気汚染常時監視
を行つて、五月四日、四
百四十九戸を実施。新
年度は発生源常時監視テ
レメータシステムを新設、
測定機器整備では、イオ
ン化自動測定記録計を二
台更新しました。

山の下の小針 消防出張所が完成

消防関係では、五十三
年から大山町に建設を進
めていた山の下の消防出
張所が、十月下旬消防出
張所を積み込んだ救助作
車が昨年十月完成しまし
た。この出張所には、石
油コンビナート対策の車
庫も備わりました。また、
小針消防出張所も、昨年
六月から工事を進めてい
ました。小針の大塚幹線
五十一年から統一的にな
り、今年二月に完成しま
した。また、下所消防出
張所も、今年度用地買収
を終了し、新年度は、さ
らに松浜町に、空港前

大形連絡所を移転改築 消費者保護条例を制定

老朽化のため、五十三
年度から約一億八千万を
かけて建設していた大形
連絡所が、十月に完成し
ました。赤塚連絡所も老
朽化に伴い、十一月から
改築三年度から三か年
継続事業で建設してい
ます。鉄筋コ

校区安全推進協 結成が完了

十月から始まった、コ
ミュニティセンター建設
の二施設は、中山地区
良住宅（中山五八）の
ところで、住宅の高層化
に伴い、余った土地の一
角を利用して、市民だ
れもが利用できる老人
憩いの家、学童保
育のためのひまわりク
ラブと集会所、さらに
調理実習室を設ける
のです。この隣には、
自衛隊に責任者名を
表示し、料理実習室を
設けるのです。この隣
には、自衛隊に責任者
名を表示し、料理実習
室を設けるのです。こ
の隣には、自衛隊に責
任者名を表示し、料理
実習室を設けるのです。

市民サービス

地域の問題のほかに「生活環
境基準とは？」、「新沼市の
これからの街づくり」
などについての話し合いが
おこなわれました。

市民の相談 四千四百件

市民の皆さんの行政相談
は二月末で八百八十件、心
配と相談が千二百二十四
件、高齢者職業相談が千
百件、その他、法律相談、
交通事故相談、児童相談
千四百件をこえる相談が
寄せられました。

市民意識

市民の立場で「ふるさと
新潟のまちをきれいに」と
今年度も市民の環境美化
の自主活動が活発におこ
なわれました。

地域に根ざした 運動の展開を

今年度のグリーン運動へ
の参加者は四千人と、昨
年の三千人を大幅に回り
上りました。今後、各地
域の憩いの場として、開
きました。

多角的な コミュニティ施設

中山のコミュニティセンター
間もなく完成する中山の
コミュニティセンター

